

TELECHART

With TOWER

分析編

ユーザーズマニュアル

SYSTEC

ご注意

- 本ソフトウェアの著作権は、株式会社システックにあります。
- 本ソフトウェアは日本国外では使用できません。
This TELECHART With TOWER is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本ソフトウェアの複製はユーザー様が製品を使用するためにハードディスクへインストールする場合と保存（バックアップ）を行う場合に限りです。
- 本ソフトウェア、マニュアルの仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります（ユーザー登録をいただいているユーザー様にはご案内をお送りいたします）。
- 本ソフトウェアをご利用された結果から引き起こされる事態につきましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 製品につきましては万全を期しておりますが、ご不審な点、お気づきの点、誤り等ございましたら、弊社ユーザーサポート係までご連絡いただきますようお願いいたします。
- 放送電波の弱い地域、自動車などを原因とするノイズや建物の反射などによるゴーストが強い地域では文字放送の信号を正常に受信できないことがあります。
- 文字放送の放送形態や株価番組の放送内容が変更された場合は、ご利用できなくなる場合があります。
- 製品の取り扱いにつきましては、本マニュアルの内容を厳守していただきますようお願いいたします。

Windowsは米国マイクロソフトの商標商標です。

記載の会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

TELECHART With TOWER

ユーザーズマニュアル

【分析編】

はじめに

「株を安く買って、高く売りたい」は、投資家の方なら誰でも考えていることでしょう。しかし、実際の株式投資では、そう簡単にはいきません。「底だと判断して買っても予想以上に下がってしまった…」とか、「天井付近で売ろうとして待っていたら、売りの機会の逃してしまった…」などは、よくある話です。

株式投資で勝つためには、どうしたらいいのでしょうか？

まずは、損をしないことです。

では、損をしないためにはどうしたらいいのでしょうか？

それには、日頃から株式市場を取り巻く情報に敏感になり、常に新しい情報をキャッチできる環境にあることが必要です。そして、株価を評価するさまざまな分析指標を理解して、自分なりに分析できるように日頃から訓練しなければなりません。株式投資で勝つための早道や秘訣などはありません。また、100人の投資家がいれば100通りの分析方法があると申し上げても過言ではありません。勝つための早道として、強いて申し上げるならば、自分なりの分析方法や投資方法を確立することこそが唯一の早道と言えるのではないのでしょうか。焦る必要はありません。自分の判る分析指標を使って、少しずつ理解を深めていきましょう。

尚、本マニュアルに記載されている分析例や売り買いの判断方法は、TELECHART With TOWERの操作方法や各指標を説明するために用いられるものであり、必ずしも実際の株式投資にそうものではありません。ご利用は、ご自身の責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

分析指標

1. ローソク足	7
2. 止め足	13
3. 株価移動平均	14
4. 新値足	16
5. カギ足	17
6. 一目均衡表	18
7. 株価変化率	20
8. 出来高	21
9. 出来高移動平均	21
10. 出来高変化率	22
11. サイコロジカルライン	23
12. 株価カイリ率	25
13. ボリュームレシオ	26
14. R S I	29
15. R C I	30
16. ストキャスティクス	32
17. 出来高カイリ率	34
18. 信用残	35
19. 逆ウォッチ曲線	36
20. 出来高分布	37
21. テレンドライン	38
22. 上昇・下降クロス	39
23. 計算条件と表示色	40

分析例

例－１．株価急騰銘柄検索	42
例－２．株価下落銘柄検索	44
例－３．出来高増加銘柄検索	46
例－４．株価上昇クロス（ゴールドンクロス）検索	48
例－５．株価下降クロス（デッドクロス）検索	50
例－６．RCI上昇クロス検索	52
例－７．株価カイリ率（－）検索	54

分析指標

株価の評価をするためには、さまざまな分析指標を知ることが必要です。
TELECHART With TOWERに採用されている各指標の内容や特徴をよくつかんでください。



1

ローソク足

ローソク足は一番なじみの深い指標ではないでしょうか。

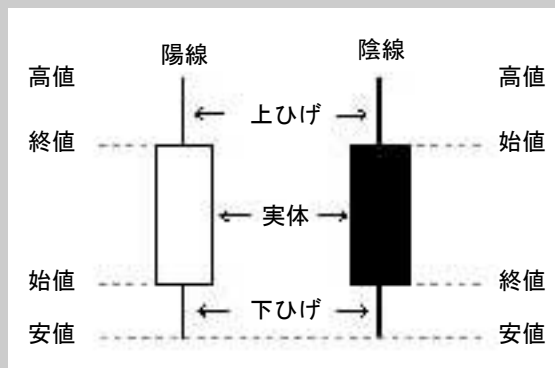
日本古来の指標で株価の騰落、始値、高値、安値、終値を視覚的に表すことができます。終値が始値よりも高い場合を陽線、終値が始値よりも安い場合を陰線と呼びます。始値と終値で挟まれた部分を実体といい、実体からはみだした線をひげとか影と言います。このひげと実体の形が蠟燭に似ていることから、「ローソク足」と呼ばれています。



ローソク足

● 陰線と陽線

一般に陰線は下降相場を表し、陰線が連続する場合は下降傾向にあると考えられます。逆に陽線が連続する場合は上昇傾向にあることを示しています。





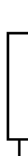






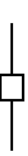




陰線と陽線

● 実体とひげ

実体の長さは力強さを表しており、陰線が長いものほど下降への売り圧力が強いことを示し、陽線が長いものほど上昇への買い圧力が強いことを示しています。また、実体よりひげの部分が長いものは、その日（その週）の間に大きく上下に攻防があったことを示します。

● ローソク足の基本型

ローソク足には、基本的な足型を表す呼び方があります。また、それぞれの基本型の中にもひげの長さによって細かく分類された呼び名が付いています。

大陽線			大陰線			小陽線			小陰線			寄引同時線				
																
基本型	陽の丸坊主	陽の大引坊主	陽の寄付坊主	基本型	陰の丸坊主	陰の寄付坊主	陰の大引坊主	基本型	陽のコマ	陽のカラクサ	基本型	陰のコマ	陰のカラクサ	基本型	トンカチ	トウバ

ローソク足の基本型

大陽線

株価が大きく上昇したときにできる足型です。大陽線は株価の勢いをよく表しますので、もみ合い期間の長い銘柄などで、突然大陽線が出現した場合、今後の相場が大きく動き出す可能性を秘めています。

・細かな分類として、ひげの付いていない場合を「陽の丸坊主」、下ひげのみ付いているものを「陽の大引坊主」、上ひげのみが付いたものを「陽の寄付坊主」と呼ばれています。

大陰線

株価が大きく下落したときにできる足型です。上ひげが無い場合は寄り付きからの下げを意味し、下ひげが無い場合や短い場合は、下げ止まりの気配を感じさせず、より一層下げる可能性を秘めている。高値圏でこの足型が出現した場合は、高い確率で下げ続ける可能性があります。

・細かな分類として、ひげの付いていない場合を「陰の丸坊主」、下ひげのみ付いているものを「陰の寄付坊主」、上ひげのみが付いたものを「陰の大引坊主」と呼ばれています。

小陽線

株価が小幅に上昇したときにできる足形で、大陽線との明確な違いを示す基準はありません。単独で出現した場合は、あまり意味を持ちませんが、連続で出現した場合などは、今後、大陽線へ変化していく可能性を秘めています。

・細かな分類として、上下のひげが実体部分よりも長い場合を「陽のコマ」、実体部分が短く下ひげだけが大きく伸びている場合を「陽のカラカサ」と呼びます。

小陰線

株価が小幅に下降したときにできる足形で、大陰線との明確な違いを示す基準はありません。単独で出現した場合は、あまり意味を持ちませんが、連続で出現した場合などは、今後、大陰線へ変化していく可能性を秘め、大陰線の出現によって底入れを確認できる可能性もあります。

・細かな分類として、上下のひげが実体部分よりも長い場合を「陰のコマ」、実体部分が短く下ひげだけが大きく伸びている場合を「陰のカラカサ」と呼びます。

寄引同時線

十字線とも言い、始値と終値が同値だったときにできる足型です。株価が上げや下げへ動き出す転換の可能性を示す重要な足型です。

・細かな分類として、下ひげのみ大きく伸びた場合を「トンカチ」、上ひげのみ大きく伸びた場合を「トウバ」と呼びます。

● ローソク足の組み合わせ

ローソク足を単独の足型だけで判断することは難しいため、連続した複数の足型をパターンとして読みとる事が必要になります。足型パターンの種類は数多く有り、全てを紹介することはできませんので、一般に広く知られている『酒田五法』の中から、代表的な三山、三川、三空を紹介します。

三山

大天井を示すとされる代表的なパターンです。天井圏を形成する場合と同じ動きを三回繰り返すとされており、上げの山が三回有ることから『三山』とされています。短期的な判断には不向きとされ、数ヶ月程度の期間が必要とされます。



三川

三川は三山の反対のパターンで、大底を示すとされています。天井圏を形成する場合に同じ動きを三回繰り返すとされており、下げの谷が三回有ることから『三川』とされています。三川を確認するためには、数ヶ月の期間が必要とされています。

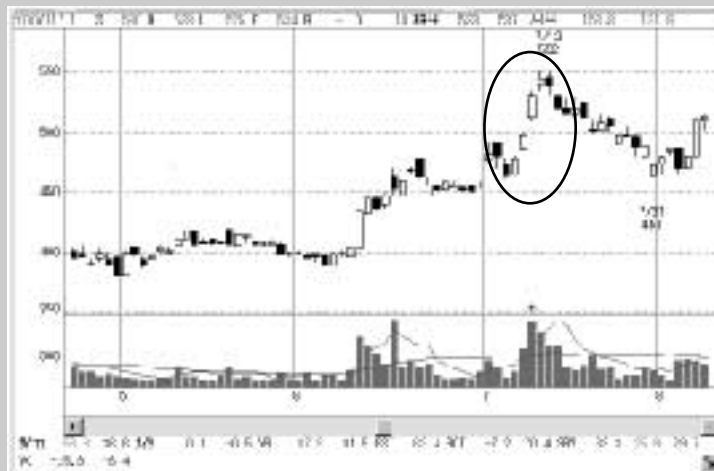
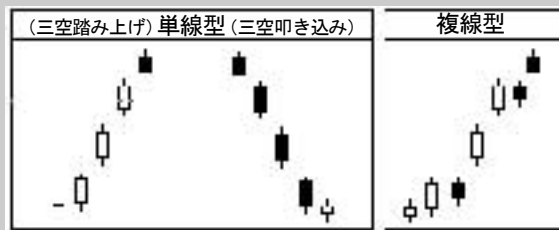


三空

ローソク足とローソク足の間いわゆる窓を三回空けるパターンです。単線型と複線型があり、単線型は連続するローソク足の場合で、複線型は小グループ化されたローソク足の場合です。また、陽線の場合を『三空踏み上げ』、陰線の場合を『三空叩き込み』といいます。

『三空踏み上げ』の後にひげの長い寄引同時線が出れば、天井と判断することもあります。

『三空叩き込み』の後は大底を形成する可能性が大きいと判断することもあります。

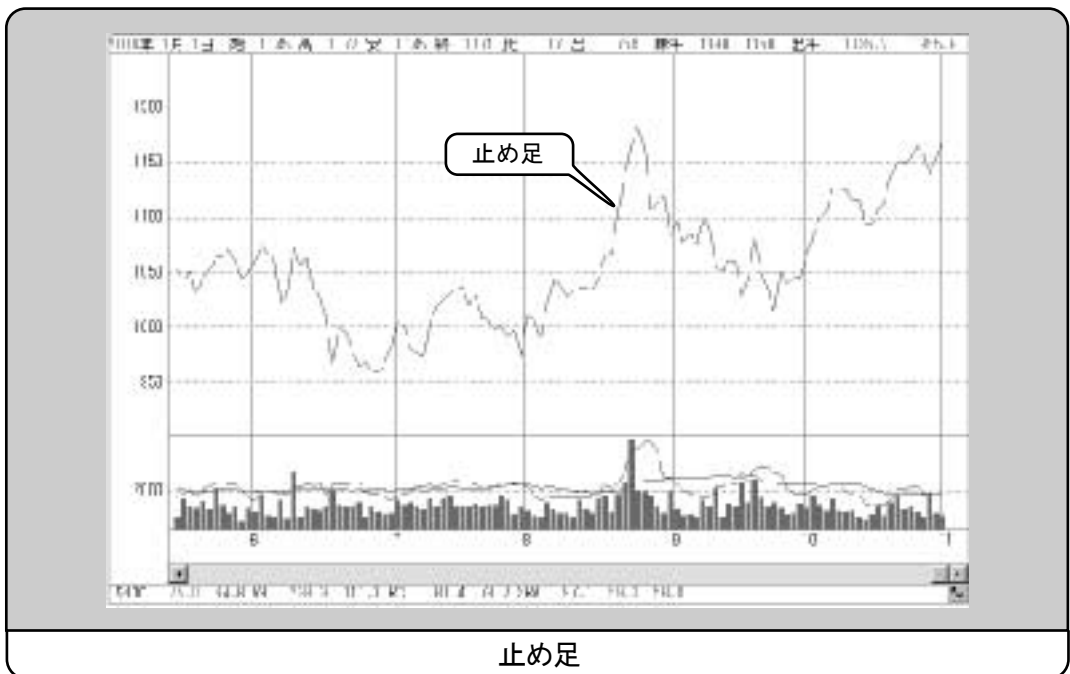


三空

2

止め足

終値を時系列に繋いだ折れ線グラフで単純に株価の動きを表します。カギ足や新値足など終値のみを用いる指標と組み合わせて見る場合に便利です。



止め足

3

株価移動平均

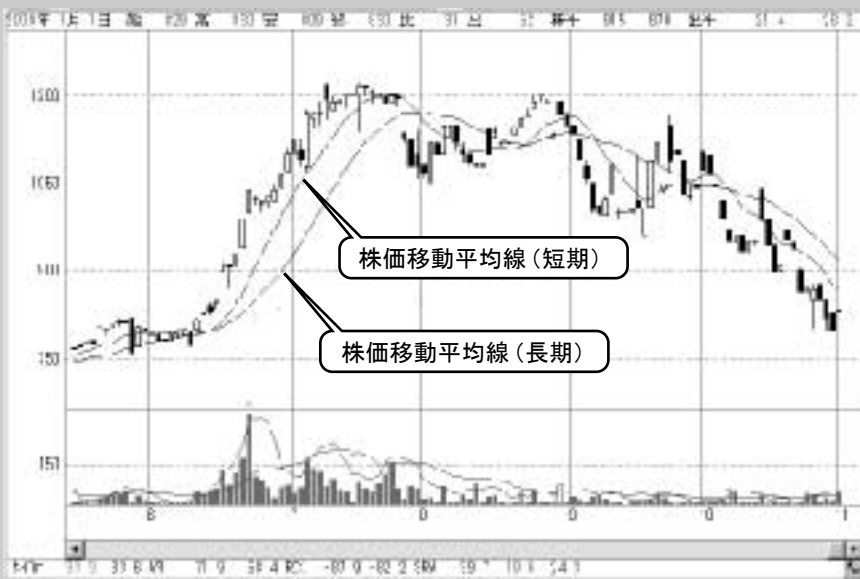
アメリカのジョセフ・グランビルが考案した移動平均線は、ローソク足と並んで代表的なチャートとして広く人気があり、株価の長期的な大きな流れを見るときには有効なチャートとされています。移動平均線は過去のある一定期間の平均株価をグラフ化したものです。例えば、20日移動平均の場合、過去20日間の終値を合計し、それを20で割ったものが第一日目の値となります。以降、順次20日前を除外し、直近の終値を加え20で割っていきます。こうして算出された平均値をグラフ化したものです。*



計算

n = 設定日数

株価移動平均(円) = n日間の終値合計 / n



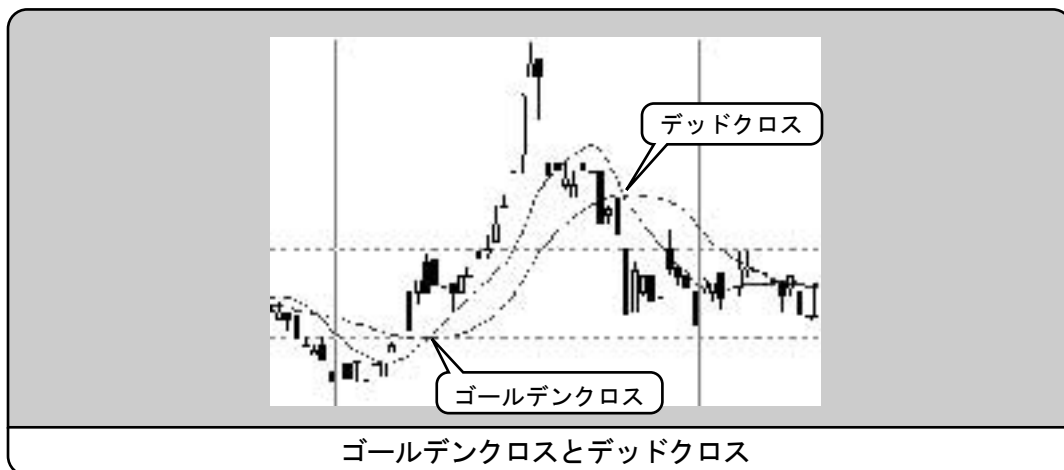
株価移動平均線

● 株価移動平均の特徴

株価移動平均は、複数日の株価の終値を平均して算出されるため、実際の株価の動きより滑らかな動きになります。終値のみを単純に繋いだ止め足と比べるとその違いがよく判ると思います。この滑らかな線によって現在の株価が過去の株価に比どの水準にあるかを知るのに役立ちます。例えば、乱高下を繰り返している銘柄の株価水準を把握するのにローソク足や止め足を見ても判りづらい部分がありますが、株価移動平均を用いることによつて的確に水準を捉えることができます。また、株価移動平均線がローソク足の上に位置するか、或いは下に位置するかで、株価水準を捉える目安とすることができます。即ち、ローソク足より上に位置する場合は、株価が過去の水準よりも下にあることから今後株価は上昇する可能性があることを意味します。反対の場合は、逆に株価が下がる可能性があります。株価移動平均値を算出するための設定日数は、長期的な動きを見たい場合は多めに、短期的な動きを見たい場合は少なめに設定してください。

● ゴールデンクロスとデッドクロス

株価移動平均は、一般的に長期と短期の2種類の線を使って判断する方法が用いられます。長期とは、株価移動平均値を算出するための日数を長めに設定します。(日足では20日や30日がよく用いられます。)短期は、算出日数を長期よりも短めに設定します。(日足では10日や16日がよく用いられます。)この2本の線の動きによって相場を判断することができます。判断の方法として、ゴールデンクロスとデッドクロスがあります。ゴールデンクロスとは、短期線が長期線を下から上へ突き抜けた点を言い、株価が上昇相場に転じる可能性があります。逆に短期線が長期線を上から下へ突き抜けた点をデッドクロスと言い、株価の下降相場を示す可能性があります。



新値足は、俗に”新値3本抜き”や”3本新値足”とも言い、株価の小さな動きを廃し、直近の指定本数に対する新値分を上下に更新するときを転換点とする、相場の転換点を捕らえるための指標です。

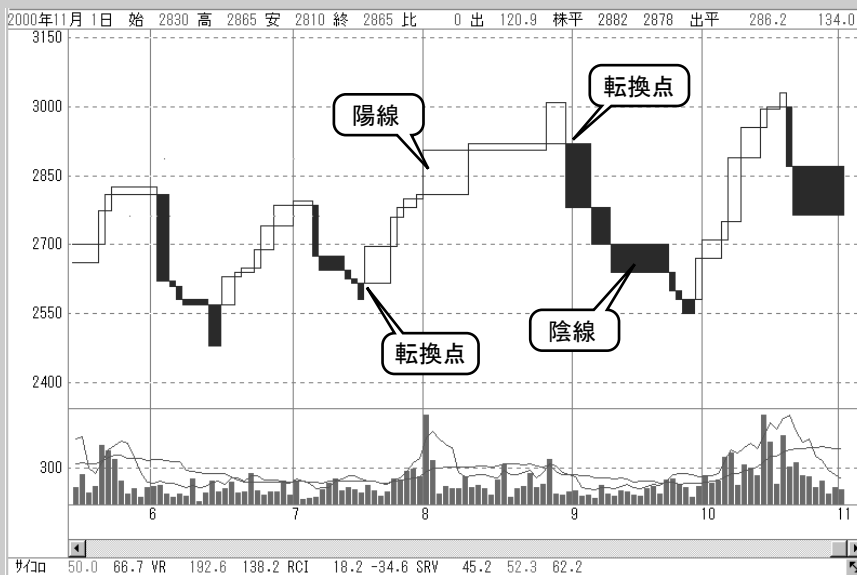
株価が上昇しているときは、終値が直近の高値を更新する度に行を変えて陽線を書き足し、直近の指定本数の陽線の安値を下回った時に転換します。

株価が下降しているときは、終値が直近の安値を更新する度に行を変えて陰線を書き足し、直近の指定本数の陰線の高値を上回った時に転換します。

要するに3本抜きの場合、過去の相場から逆の動きになったとき、過去の3本分を超えたら転換点として相場が反転したことを知らせます。

本来は、時間軸の無いチャートですが、TELECHART With TOWERでは時間軸を付けることで転換の経過を時間という視点からも捕らえることができるようになっています。

・計算条件設定で設定する数値は、何本抜きか？を設定します。一般的な3本抜きの場合は、3と設定してください。設定する本数は他に5本や10本がありますが、本数が増えれば転換点の出現は少なくなりなす。

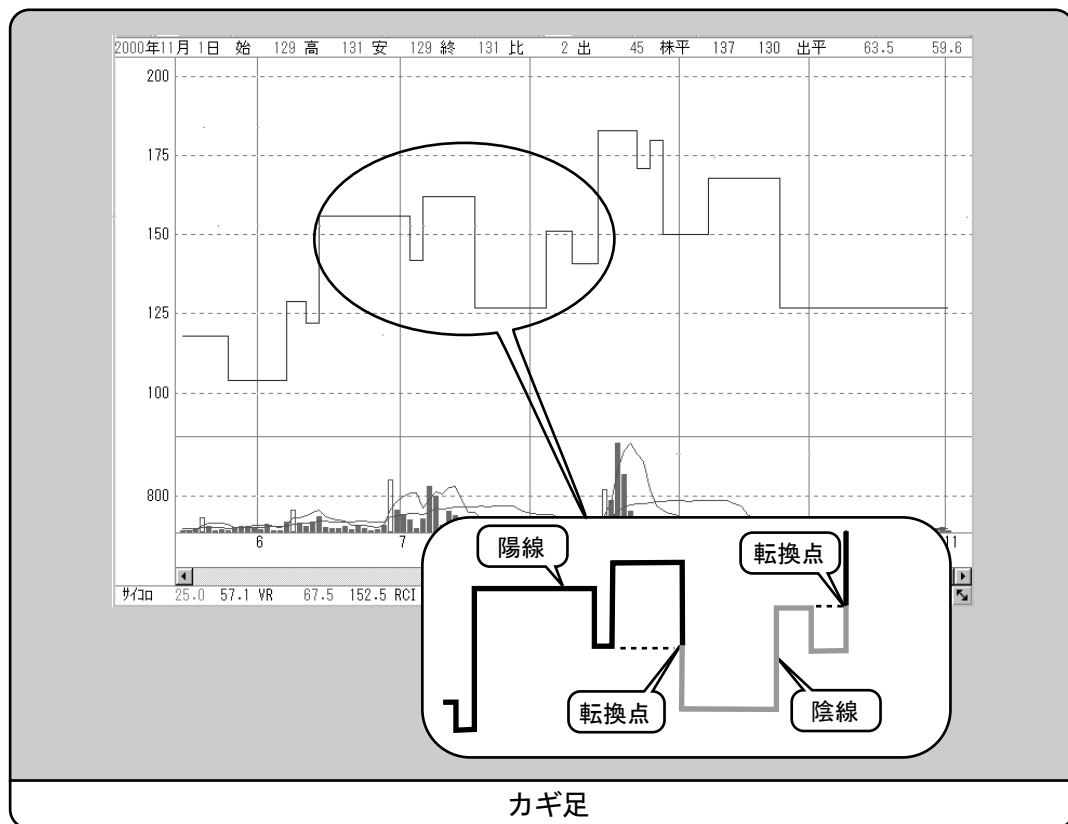


新値足

カギ足は、株価の動向を一本の線の屈折で示したものです。「値幅足」とも呼ばれる日本古来のチャートです。

- 一定比率の値幅を設定しておき、出発点より一定比率以上の上昇があれば陽線を引きます。さらに、上昇が続けば同じ線を継ぎ足していき、一定比率以上の下降があれば線を折り曲げて継ぎ足します。ただし、この下降値が前回の底値を下回った場合には行を変えず下回った点より陰線を引きます。そのまま一定比率以上の上昇がなく下降が続けば同じ線を継ぎ足していきます。そして一定比率以上の上昇があった場合には線を折り曲げて継ぎ足します。ただし、この上昇値が前回の高値を上回った場合には行を変えずに上回った点より陽線を引きます。

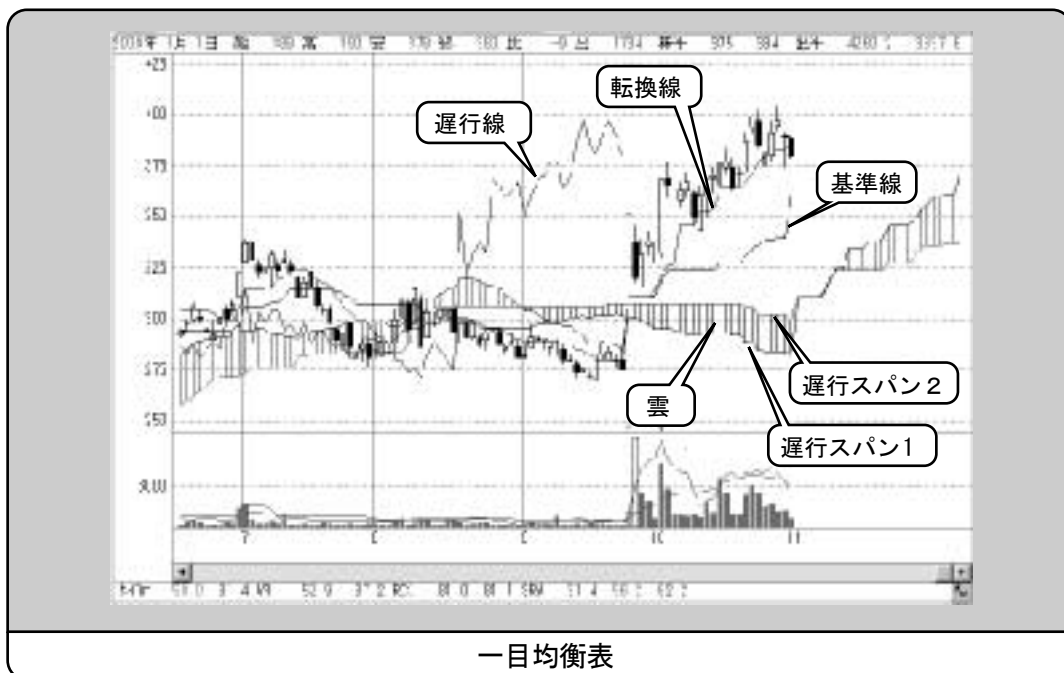
- カギ足は値幅を円単位で固定化する場合と、値幅率にする場合がありますが、TELECHART With TOWERは後者の値幅率を採用しています。また、一般的には時間軸のないチャートですが、転換の経過を時間という視点からも捕らえることができるように時系列のカギ足を採用しています。



6

一目均衡表

・時間に主眼をおき、相場のバランスを見極めるため基準線、転換線、遅行線、スパン(先行スパン1、先行スパン2)を合わせてみれば「一目瞭然である」との意味から一目均衡表と呼ばれています。



基準線

26日間の最高値と最安値の中間値。

転換線

9日間の最高値と最安値の中間値。

遅行線

終値の26日間の遅行。

先行スパン1

基準線と転換線の中間値を26日先へ先行。

先行スパン2

52日間の最高値と最安値の中間値を26日先へ先行。

7

株価変化率

- ・ 株価変化の度合いを率で表します。株価が上昇した場合は+（プラス）の数値が、株価が下降した場合は-（マイナス）の数値が算出されます。
- ・ 株価チャート上では、株価変化マークとして+10%以上上昇したときのみ「↑」が表示されます。



計算

n = 設定日数

株価変化率(%) =

$$\left(\frac{\text{当日の終値} - \text{過去}n\text{日間の終値平均}}{\text{過去}n\text{日間の終値平均}} \right) \times 100$$

● 株価変化マーク

株価変化マークは、急激に上昇に転じた位置に「↑」マークが付きます。マーク出現の条件は、指定した期間の過去の終値平均に対して、10%以上株価が上昇したときです。例えば、株価変化率の設定を3に設定した場合に、当日の終値が1100円だったとします、過去3日間の終値平均が1000円以下の場合に当日のところにマークが付くわけです。



株価変化マーク

7

株価変化率

- ・ 株価変化の度合いを率で表します。株価が上昇した場合は+（プラス）の数値が、株価が下降した場合は-（マイナス）の数値が算出されます。
- ・ 株価チャート上では、株価変化マークとして+10%以上上昇したときのみ「↑」が表示されます。



計算

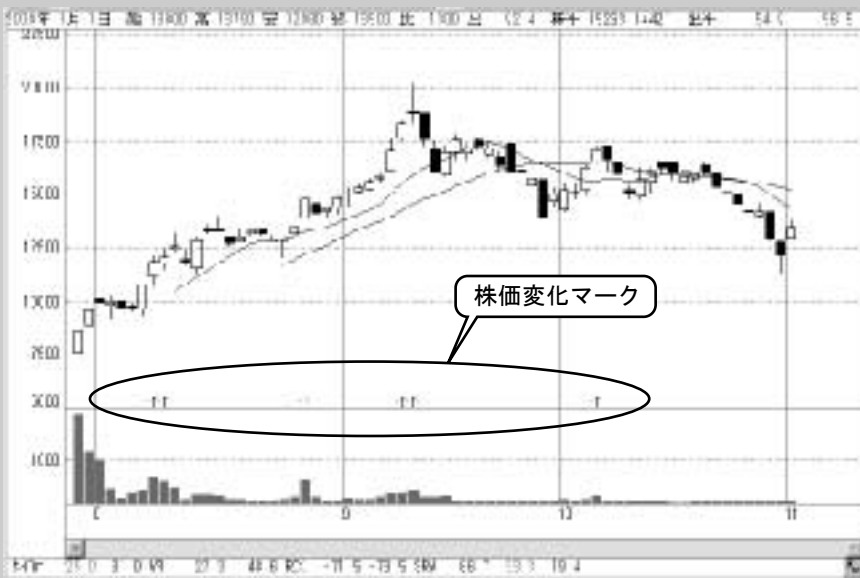
n = 設定日数

株価変化率(%) =

$$\left(\frac{\text{当日の終値} - \text{過去}n\text{日間の終値平均}}{\text{過去}n\text{日間の終値平均}} \right) \times 100$$

● 株価変化マーク

株価変化マークは、急激に上昇に転じた位置に「↑」マークが付きます。マーク出現の条件は、指定した期間の過去の終値平均に対して、10%以上株価が上昇したときです。例えば、株価変化率の設定を3に設定した場合に、当日の終値が1100円だったとします、過去3日間の終値平均が1000円以下の場合に当日のところにマークが付くわけです。

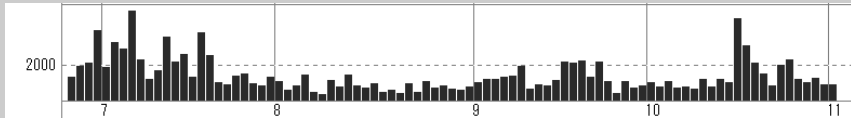


株価変化マーク

8

出来高

- 出来高は市場で取り引きされた株数を表します。



出来高の棒グラフ

9

出来高移動平均

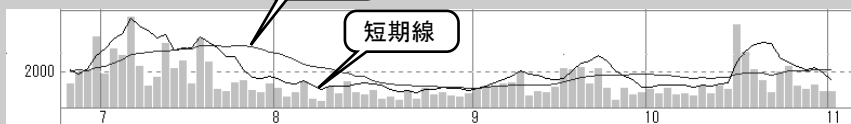
- 出来高移動平均は、過去のある一定期間の出来高平均を数値やグラフで表したものです。



計算

$n = \text{設定日数}$

出来高移動平均(株) = n 日間の出来高合計 / n



出来高移動平均線

注意!

出来高移動平均グラフは、出来高目盛りより少し上側に表示されます。これは棒グラフとの重なりによって見辛くなることを防ぐためです。折線グラフでは、傾向をつかむ程度にして、実際の数値は、チャート上部の“出平”で確認してください。



10

出来高変化率

・ 出来高変化の度合いを率で表します。100%を基準として出来高が増加した場合は100%以上の数値が、出来高が減少した場合は100%未満の数値が算出されず。

株価チャート上では、出来高変化マークとして500%以上（5倍以上）のときのみ中抜き棒グラフが表示されます。



計算

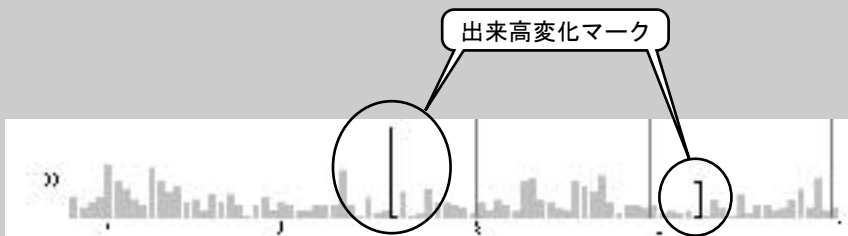
n = 設定日数

出来高変化率(%) = (当日の出来高 / 過去n日間の出来高平均) × 100

● 出来高変化マーク

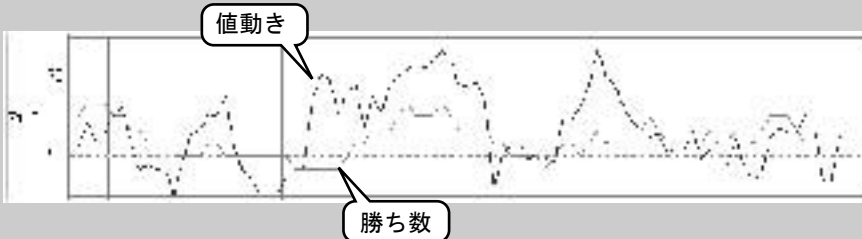
出来高変化マークは、急激に出来高が増加した時に出来高グラフに出現します。通常の出来高グラフは塗りつぶされますが、出来高変化マークが出現したときは、塗りつぶされずに外枠だけの矩形となります。出現の条件は、指定した期間の過去の出来高平均に対して、5倍以上に出来高が膨らんだときです。

・ 例えば、出来高変化率の設定を3に設定した場合に、当日の出来高が10万株だったとします、過去3日間の出来高平均が2万株以下の場合に当日のところにマークが付く訳です。



出来高変化マーク

・サイコロジカルラインには、勝ち数の比率のみでグラフ化するものと、株価の上げ下げを考慮した値動きサイコロジカルラインの2種類があります。どちらのサイコロジカルラインも比較的単純な指標であり、相場が買い人気なのか、売り人気なのかを確認することもできます。



サイコロジカルライン

● 勝ち数サイコロジカルライン

・投資家心理から相場を見ようとする指標です。過去の一定期間において対前日比値上がり日数と値下がり日数をグラフ化したものです。簡単に言えば、指定した期間に於ける値上がり日数の比率です。

・比率が25%以下なら底値圏であることを示し、75%以上なら天井圏であることを示します。



計算

n = 設定日数

u = n 日間の値上がり日数

$$\text{勝ち数サイコロジカルライン (\%)} = (u / n) \times 100$$

※値上がりの判定は、日足の場合が前日の終値に対して当日の終値を比較する。週・月足の場合が当日の始値に対して当日の終値を比較する。

● 値動きサイコロジカルライン

・勝ち数サイコロジカルラインに上げ下げの値幅を考慮し相場の変動の度合いを見る指標です。比率が70%以上は買われ過ぎ、30%以下は売られ過ぎの領域であることを示します。



計算

n = 設定日数

u = n日間の値上がり日の値上がり幅(前日比)合計

d = n日間の値下がり日の値下がり幅(前日比)合計

$$\text{値動きサイコロジカルライン (\%)} = (u / (u + d)) \times 100$$

※値上がり、値下がりの判定は、足の種類に関わらず当日の始値に対して当日の終値を比較する。

株価カイリ率は、株価と株価移動平均の離れ度合いを数値化してグラフに描く指標です。したがって、“20日株価カイリ率”などと表現する場合は、株価移動平均の設定日数が20日となります。株価移動平均値が株価と全く同じ場合の株価カイリ率は0です。株価移動平均値が株価よりも高い場合は株価カイリ率は－（マイナス）になります。反対に株価の方が高い場合は＋（プラス）になります。この株価との離れ度合いを率で表します。

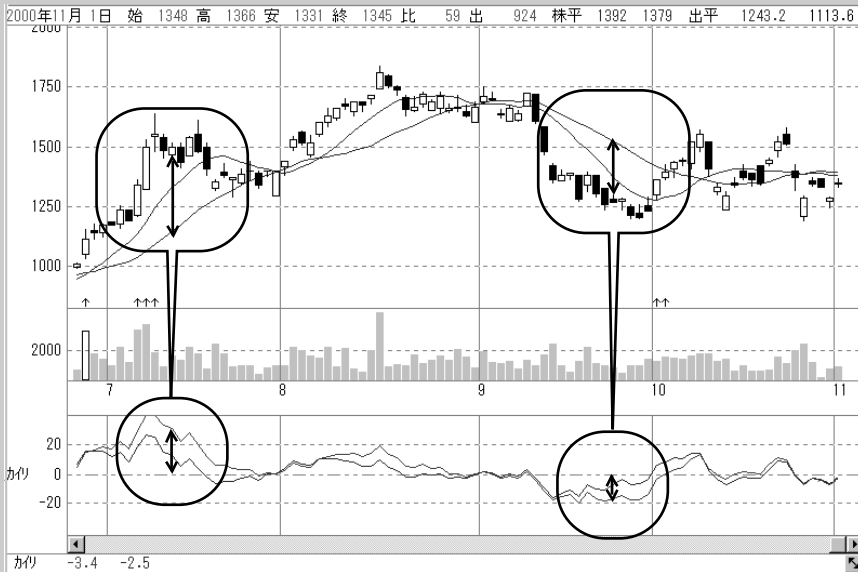
・例えば、株価が下降している場合に、株価移動平均は動作が遅れるために実際の株価との間に隙間ができます。この場合の株価カイリ率は－（マイナス）の値を示し、いずれ株価が上昇に転じると反対に株価移動平均より株価は高い水準となり＋（プラス）に転じます。一般的には、+20%以上を上昇しすぎていることを示し、-20%以下は下がりすぎていることを示します。したがって、株価カイリ率の低いレベルの銘柄は今後上昇する可能性を秘めていることとなります。



計算

r = 株価移動平均

$$\text{株価カイリ率 (\%)} = ((\text{当日の終値} - r) / r) \times 100$$



株価移動平均と株価カイリ率の関係

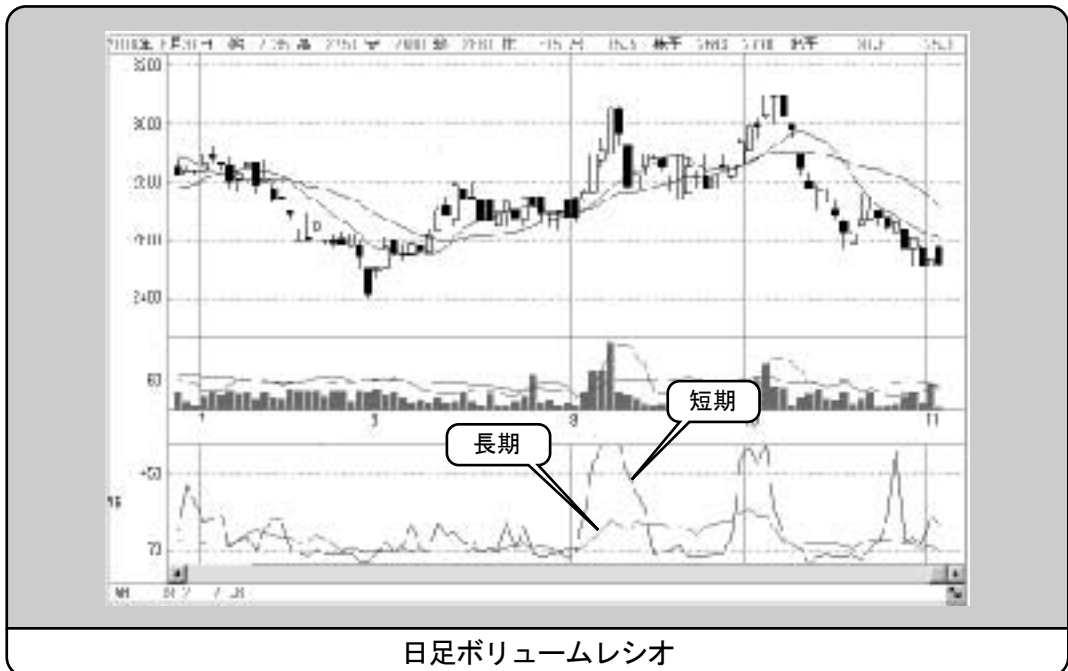
13 ボリュームレシオ

● 日足ボリュームレシオ

日足ボリュームレシオは、一定期間の株価上昇日の出来高合計と株価下落日の出来高合計の率です。ボリュームレシオが100%とは、株価上昇日の出来高合計と株価下落日の出来高合計が同じであることを示し、120%では株価上昇日の出来高合計が株価下落日の出来高合計より20%多いことを示します。

通常、株価上昇日の出来高は株価下落日の出来高よりも多く、株価上昇日の日数は下落日の日数よりも多くなるのです。ボリュームレシオの度数分布を求めると日足の場合150%あたりが最も頻度が多くなっていることから、150%あたりを通常と捉え、450%を超えると目先の相場は警戒を要し、70%を割れば相場の底と言われます。

図のように、短期ボリュームレシオが450%を超えた場合は、相場の過熱感を表し、警戒が必要と言えます。

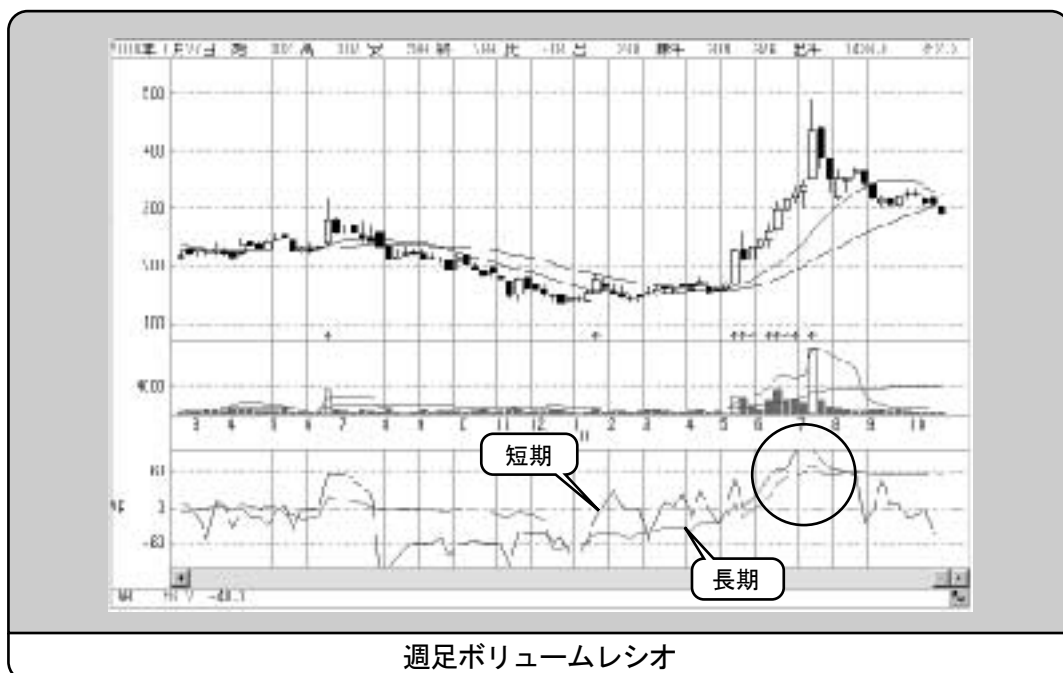


● 週足（月足）ボリュームレシオ

週足（月足）ボリュームレシオは、一定期間の株価上昇週の出来高合計と株価下落週の出来高合計の差を全体の出来高合計で割った率で表され、相場のエネルギーを判断します。株価上昇週の出来高合計が大きい場合は+（プラス）の数値になりますが、下落週の出来高が大きい場合は、反対に-（マイナス）の数値となります。ボリュームレシオが+60%を超えると上昇傾向を示し、-60%を割り込むと下降傾向を示します。

・一定期間を26週に設定した26週ボリュームレシオは+60%から-60%の間で推移し、+60%に接近すると目先の相場は警戒を要し、-60%に接近すると相場の底であると言われます。

図のように出来高を伴って株価を上げた場合は、ボリュームレシオの示すエネルギーも大きくなりますが、長期、短期とも+60%に近づくと警戒が必要になります。また、長期が-60%に近づくことで底値を確認できる可能性があります。



週足ボリュームレシオ



計算

● 日足ボリュームレシオ

n = 設定日数

u = n日間の値上がり日の出来高合計

d = n日間の値下がり日の出来高合計

e = n日間の同値日の出来高合計

$$\text{日足ボリュームレシオ (\%)} = (u + (e / 2)) / (d + (e / 2)) \times 100$$

※値上がり、値下がりの判定は、前日の終値に対して当日の終値を比較する。

● 週足（月足）ボリュームレシオ

n = 設定日数

u = n日間の値上がり日の出来高合計

d = n日間の値下がり日の出来高合計

e = n日間の同値日の出来高合計

a = n日間の出来高合計

$$\text{週足ボリュームレシオ (\%)} = ((u - (d + e)) / a) \times 100$$

※値上がり、値下がりの判定は、当日の始値に対して当日の終値を比較する。

相対力指数とも呼ばれ、相場の変動の度合いを見ようとする指標です。過去の一定期間において対前日比値上がりの日数と値下がりの日数に上げ幅と下げ幅を考慮した比率をグラフ化したものです。RSIの比率が100%に近いほど買われ過ぎ、0%に近いほど売られ過ぎであることを示します。



計算

n = 設定日数

u = n 日間の値上がり日の値上がり幅(前日比)合計

d = n 日間の値下がり日の値下がり幅(前日比)合計

$$RSI(\%) = (u / (u + d)) \times 100$$

※値上がり、値下がりの判定は、当日の始値に対して当日の終値を比較する。

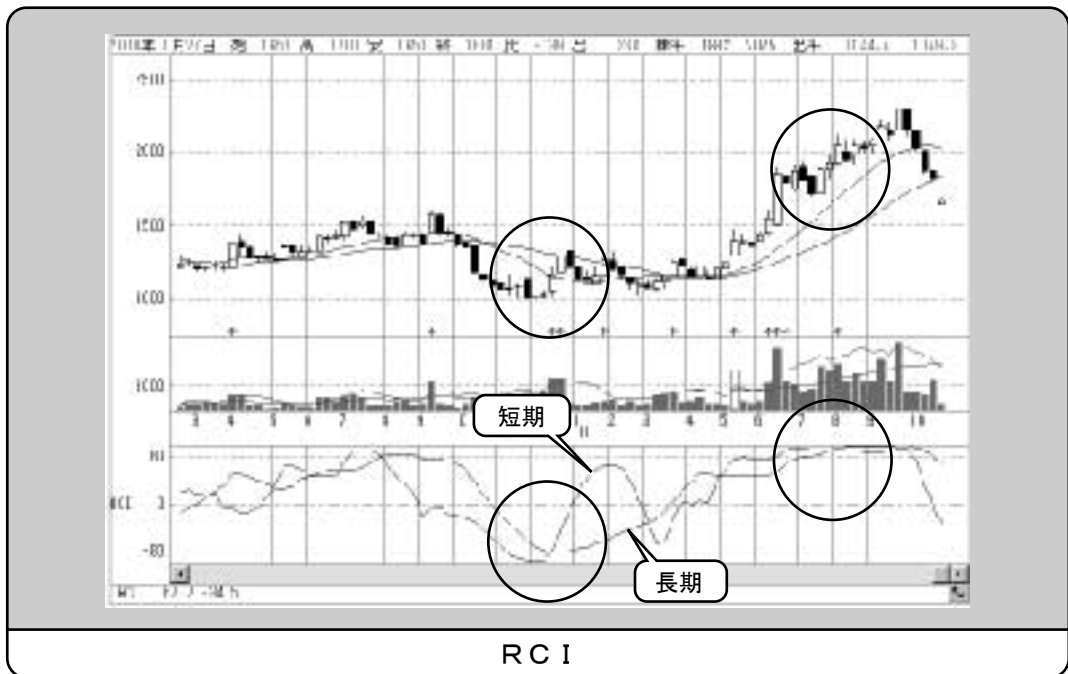


RSI

相対力指数やRSIという呼び方で利用されていますが、サイコロジカルラインと同じ考え方の指標です。特に値動きサイコロジカルラインと計算方法や見方も同じです。一定の波形を繰り返す安定した銘柄の底を確認できる可能性があります。

順位相関係数とも呼ばれ、日付と値段の順位の関係から相場の状況を見ます。一定期間内の日付と値段に順位をつけ計算式から指数化したものをグラフ化したものです。

・ RCI の水準が+100%に近づけば上昇傾向にあり、逆に-100%に近づけば下降傾向にあることを示します。RCI が0%の場合は動きのない状態と考え、RCI がマイナスからプラスに上昇する場合は上昇傾向の過程と捉えます。逆にRCI がプラスからマイナスに下降する場合は下降傾向の過程と捉え、それぞれ買いサイン、売りサインとする考え方もあります。



RCIはいわゆる「だまし」もありますが、長期、短期の2本の線を組み合わせた場合、-80%以下や+80%以上のエリアにおいてクロスすることがあります。このクロスした点を売り買いのポイントとして利用することも可能と言えます。上図は、週足のRCIでそのクロスが顕著に表れた例です。



計算

n = 設定日数

s = 順位差の合計

順位差の合計 (s)

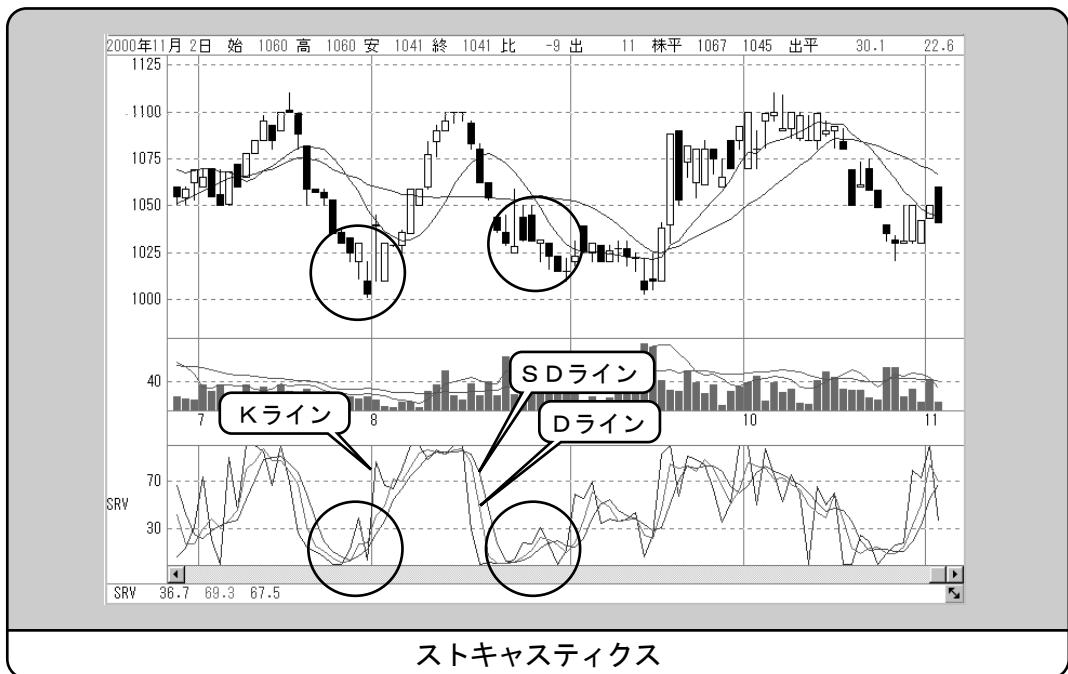
- (1) 最新の日付を1としてn期間のランキング付けする。
- (2) 終値の高い方からn期間のランキング付けする。
- (3) 各日付毎に(1)と(2)の差を2乗する。
- (4) n期間の(3)を全て加算する。(s)

※同値が複数ある場合のランキングは、中間値とする。(1, 2.5, 2.5, 4, , ,)

$$RCI(\%) = (1 - ((6 \times s) / (n \times (n^2 - 1)))) \times 100$$

過去の一定期間の最高値と最安値の値幅と最安値から終値の幅を比較する指標です。過去の上げ下げの範囲の中で現在の株価がどの水準に位置するかを判断する事ができます。例えば、現在の株価が過去一定期間の中で最高値と同じ水準ならば100%、最安値と同水準ならば0%となるわけです。

- Kラインは、当日の株価のみとの比較になるため、数値は敏感に反応し小さな値動きでも大きく変動します。
- Dラインは、指定した期間の高・安値幅合計と、指定した期間の終・安値幅合計の比較ですので、Kラインよりもやや滑らかな線になります。
- SDラインは、Dラインの3日移動平均ですのでより滑らかになります。



ストキャスティクスは通常KラインとDラインの相対関係によって売買タイミングを確認します。設定する日数によっても判断方法が変わりますが、日足でKラインが5日、Dラインが3日の場合に以下のような判断が可能です。

注意!

ストキャスティクスは、反応が早く短期間の売買には適していますが、「だまし」も多く含まれますので、充分注意してください。



買いポイント

3本のラインがいずれも30%以下で、KラインがDラインを下から上へ突き抜けたとき。

売りポイント

・3本のラインがいずれも70%以上で、KラインがDラインを上から下へ突き抜けたとき。



計算

nK = Kライン算出日数

nD = Dライン算出日数

IK = 過去nK日間の最安値

hK = 過去nK日間の最高値

ID = 過去nD日間の(当日の終値 - IK)の合計

hD = 過去nD日間の(hK - IK)の合計

Kライン(%) = ((当日の終値 - IK) / (hK - IK)) × 100

Dライン(%) = (ID / hD) × 100

S Dライン(%) = (過去nD日間のDライン合計 / nD)

17

出来高カイリ率

出来高移動平均線は傾向を確認するのに効果的ですが遅行性の指標であることが欠点です。出来高移動平均のカイリ率を利用することでそれを補い、実際の売買タイミングを見極めるために役立てます。

・ 出来高カイリ率は出来高と出来高移動平均の差を出来高移動平均の値で割った値をグラフ化したものです。・



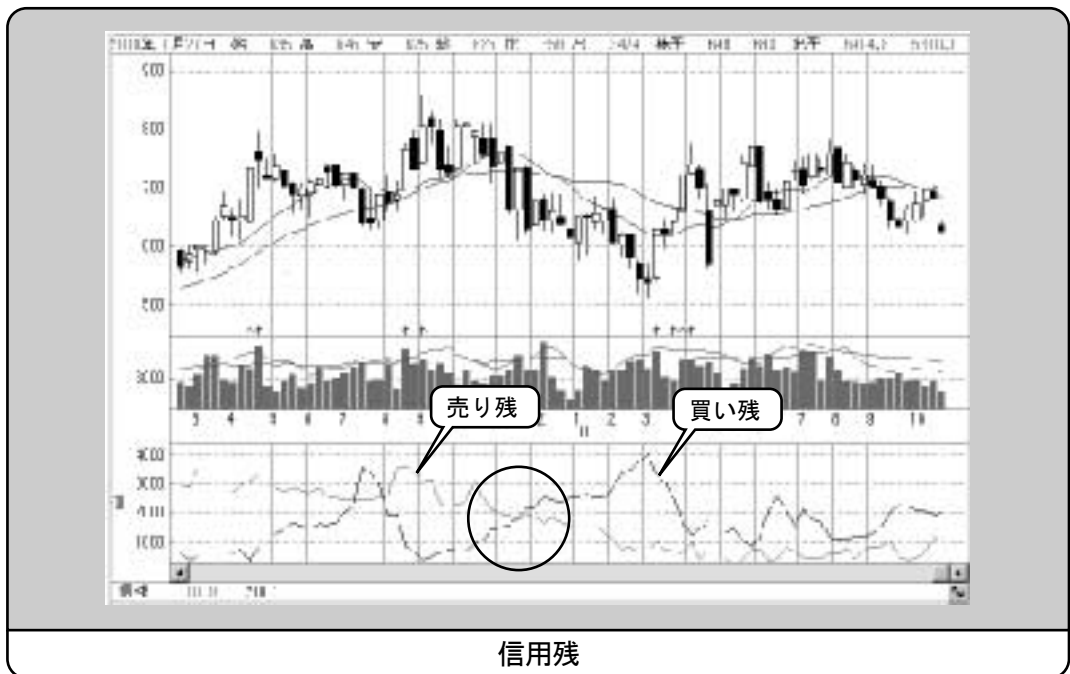
計算

 $r = \text{出来高移動平均}$ $\text{出来高カイリ率}(\%) = ((\text{当日の出来高} - r) / r) \times 100 \cdot$ 

出来高カイリ率

信用残高の値（売り残、買い残）を時系列に繋いだ折れ線グラフです。信用残高は週間の集計情報が一週間に一度発表されます。したがって週足のチャートにのみグラフ表示され、数値の単位は株数です。

・信用残の見方としては、信用取引には6ヶ月の決済期限が決められており、6ヶ月以内に決済されなければならないため、例えば信用売り残のみが急激に増加した場合などは、株価の下落を予想する投資家が多いという見方ができます。しかし予想に反して株価が下がらなかった場合は、6ヶ月後の決済期限前に買い戻しが入るため株価が上昇することもあります。このように信用残高は株価動向を探るための一つの手段と言えるでしょう。

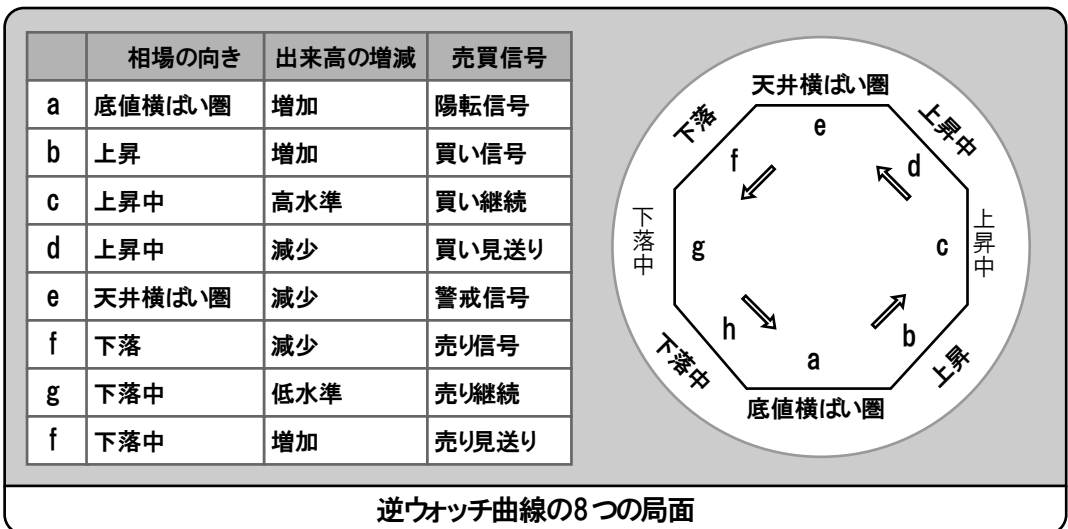
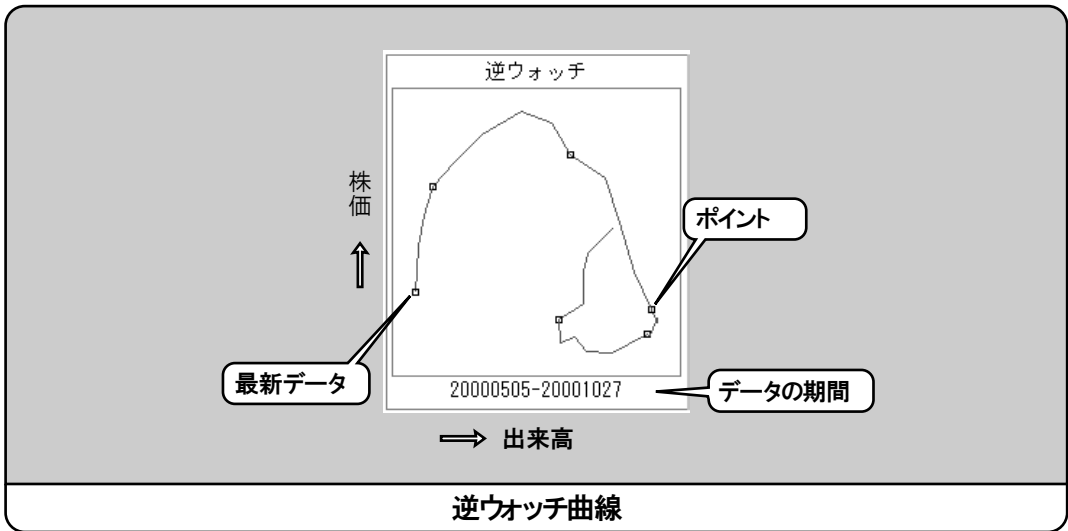


・図のチャートのように、相場の見通しによってそれぞれの残高は大きく変動します。

出来高の増減と相場を縦軸に株価、横軸に出来高を取り同じ一定の期間の平均値の交差する点を結んだ折れ線グラフです。時計の反対の左回り曲線を描くことから逆ウォッチ曲線と呼ばれています。

・ 曲線上のポイントは、日足と週足は月初データに、月足は年初データに付加され、最新のデータ(水平カーソル位置)にも付加されます。

・ 株価と出来高のデータは、それぞれ25日(週、月)の移動平均値を採用しており、変更することはできません。

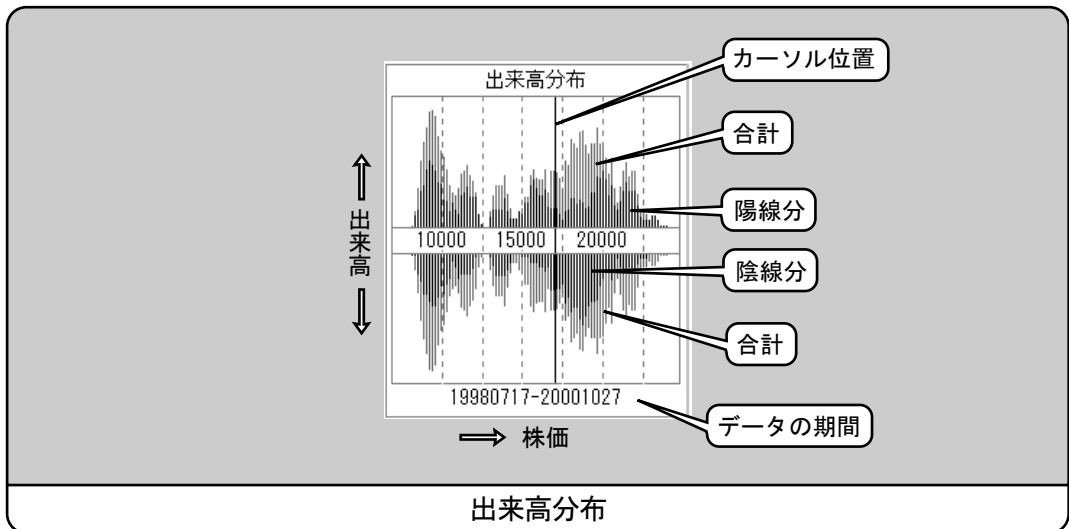


逆ウォッチ曲線の8つの局面

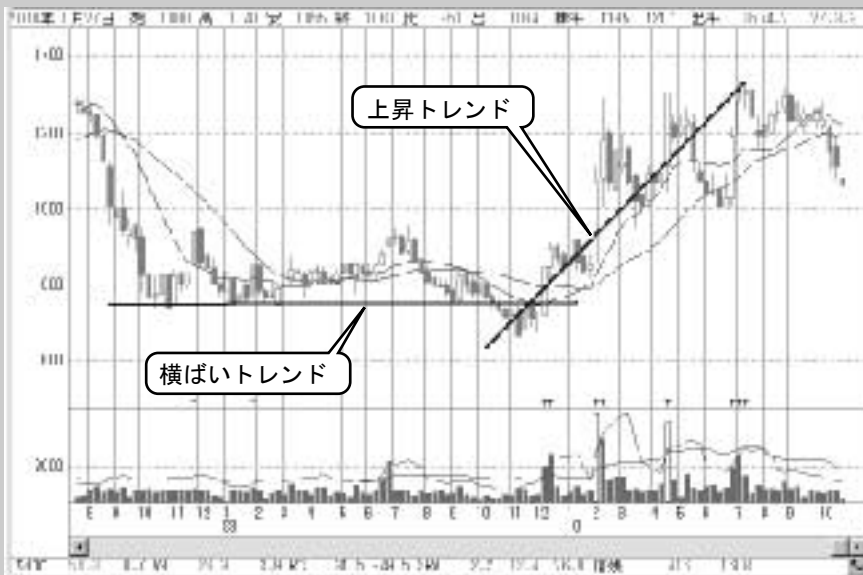
出来高分布グラフは、過去の出来高合計を株価毎に分散させた結果のグラフです。いわゆる、いくらもの株価の時にどの程度の売買が行われたかをビジュアル的に確認することができます。

- ・ グラフに利用されるデータは、ローソク足チャートの水平カーソル（縦線）の位置を基準として過去の設定された日数分の出来高です。グラフの下に表示される日付がデータの期間です。水平カーソルを移動すると基準位置が変わるためそれに伴い、グラフも変わってきます。

- ・ グラフの横の目盛りは、株価を表し、縦は出来高です。上側グラフの内側は、ローソク足が陽線の時の出来高合計で、外側は合計出来高です。同じく下側グラフの内側は、陰線の時の出来高合計で、外側は上側と同じく合計出来高です。（合計出来高は上下共に同じグラフです。）



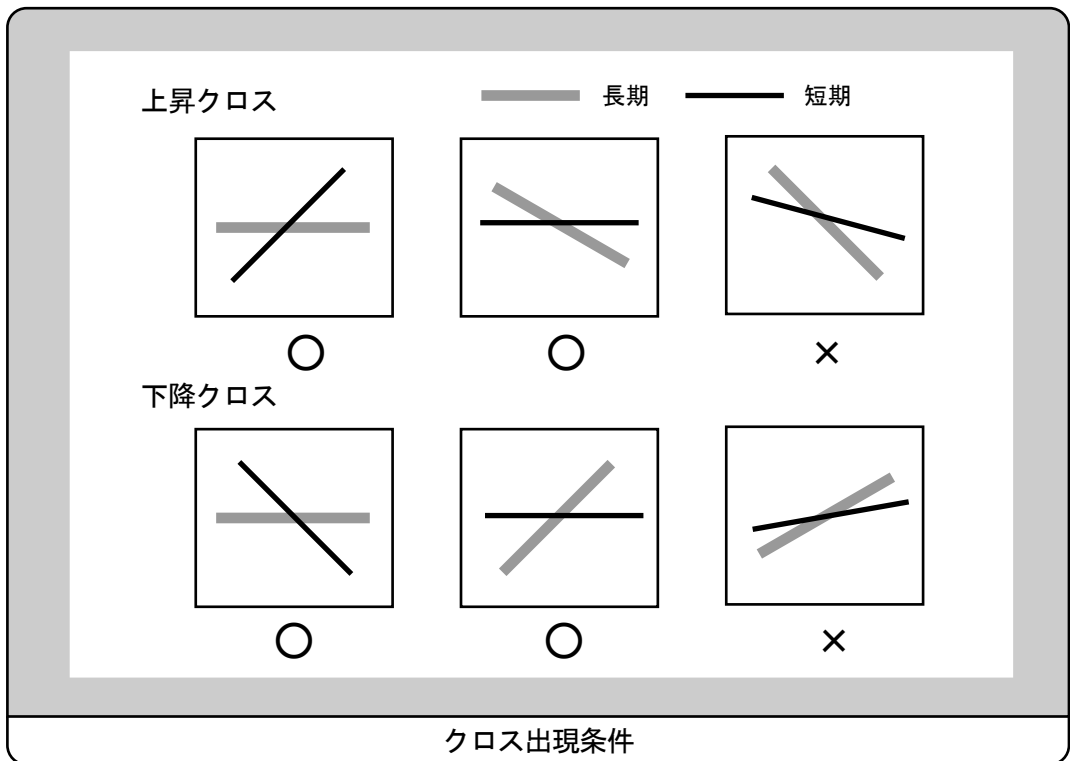
株式相場がどのような方向にあるのかを知ることは、投資判断をするための重要な要素であると思います。相場の方向とは、上昇方向、下降方向、横ばい方向の3つの方向に大別されます。相場の方向を知るための簡単な方法が、株価チャート上にトレンドラインを引いてみることです。先ほどの上昇方向の相場を上昇トレンド、下降方向を下降トレンド、横ばい方向を横ばいトレンドとして実際の線を書き入れてみてください。



横ばいトレンドと上昇トレンド

株価移動平均やRCIなど計算期間の異なる2本の線の交差する点で株価の上昇・下降の目安とすることができます。例えば、株価移動平均の短期線が長期線を下から上に突き抜けた点をゴールデンクロスと言い株価上昇の兆しを読みとることができます。

・TELECHART With TOWERでは、株価移動平均、ボリュームレシオ、RCI、ストキャスティクスの各指標に於いて、長期線と短期線のクロス情報を確認することができます。短期線が長期線を下から上に突き抜ける点を「上昇クロス」、短期線が長期線を上から下へ突き抜ける点を「下降クロス」としています。また、上昇クロスの場合には、短期線が並行または上向き、下降クロスの場合には、短期線が並行または下向きでなければなりません。



各指標は、設定された計算条件で計算され数値やグラフを表示させます。TELECHART With TOWERでは、指標の計算条件の一部を利用者が任意に変更することができます。計算条件の変更により利用者独自の分析指標とすることができます。また、指標の各表示色も任意に変更することが可能です。ここでは、予め設定されている計算条件と表示色の内容を説明します。

● 株価

指標名	分類	表示色	計算条件 (日足、週足、月足)
ローソク足	陽線	黄色	-
	陰線	水色	-
	同時線	ピンク	-
株価変化マーク		白	3、3、3
止め足		ピンク	-
株価移動平均	長期	赤	20、26、12
	短期	緑	10、13、6
	任意	黄色	15、20、9
新値足	陽線	青	3本抜き
	陰線	オレンジ	3本抜き
カギ足	陽線	赤	10%
	陰線	緑	10%
一目均衡表	基準線	白	26、26、26
	転換線	黄色	9、9、9
	遅行線	オレンジ	26、26、26
	先行スパン1	黄土色	26、26、26
	先行スパン2	緑	-
出来高		黄色	-
出来高変化マー		赤	3、3、3
出来高移動平均	長期	赤	20、26、12
	短期	緑	5、6、6
	任意	黄色	10、12、9

● オシレータ

指標名	分類	表示色	計算条件 (日足、週足、月足)
サイコロジカル ライン	勝ち数	黄色	12、12、12
	値動き	オレンジ	6、6、6
株価カイリ率	長期	赤	株価移動平均 により設定
	短期	緑	
	任意	黄色	
ボリュームレシ	長期	赤	20、26、12
	短期	緑	5、6、6
	任意	黄色	10、12、9
R S I		ピンク	10、12、12
R C I	長期	赤	21、26、12
	短期	緑	17、13、6
	任意	黄色	15、20、9
ストキャス ティクス	Kライン	緑	5、5、5
	Dライン	黄色	3、3、3
	S Dライン	青	-
出来高カイリ率	長期	赤	出来高移動平均 により設定
	短期	緑	
	任意	黄色	
信用残	売り残	黄色	-
	買い残	オレンジ	-

● その他

指標名	分類	表示色	計算条件 (日足、週足、月足)
逆ウォッチ曲線	ライン	水色	120、26、24 (表示期間)
	ポイント	赤	
出来高分布	値上がり	赤	120、120、120 (表示期間)
	値下がり	水色	
	合計	白	
トレンドライン	ライン	赤	-

分析例

既存の分析クエリーを利用して銘柄を検索して、検索した銘柄の株価チャートを見てみましょう。

例-1 株価急騰銘柄検索

説明

株価変化率を用い、株価が急激に上昇した銘柄を検索します。

計算条件

株価変化率：日足＝3日、週足＝3週、月足＝3月

検索条件

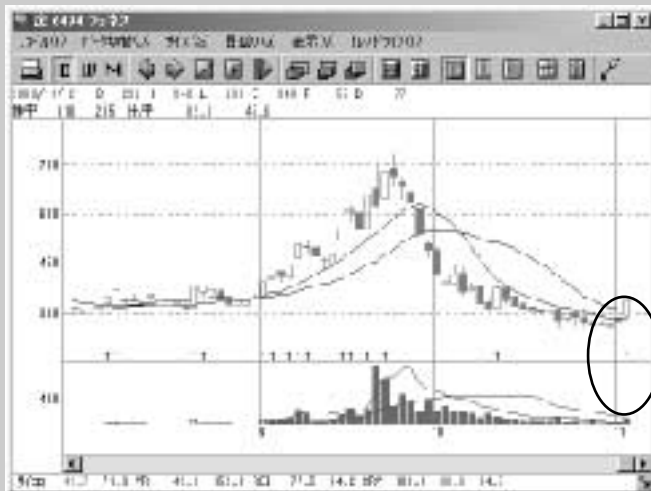
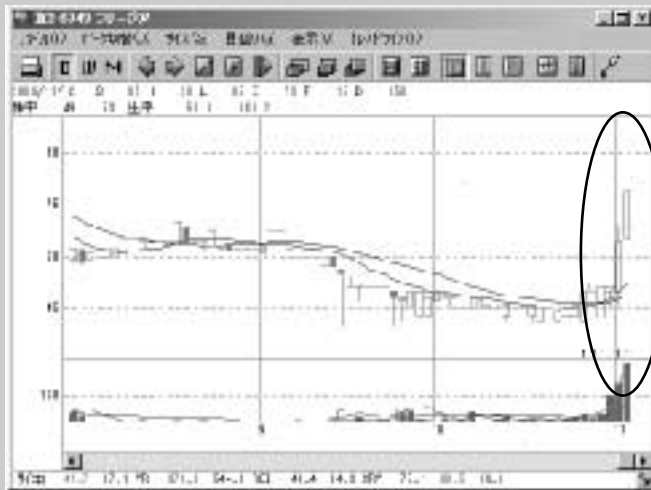
株価変化率：日足＝+10%以上、週足＝+10%以上、月足＝+10%以上

ランキング条件

株価変化率：降順

銘柄名	株価	日足3日	週足3週	月足3月
日立製作所	227	4.8	1.1	1.0
三菱電機	640	3.3	0.8	0.7
日立コンクリート	482	3.2	1.7	0.9
日立建設	390	3.0	1.8	1.9
日立システムズ	340	2.8	2.4	1.0
日立システムズ	645	2.5	-1.4	-0.8
日立建設	270	2.4	1.2	1.4
日立システムズ	57	2.4	3.5	1.7
日立建設	370	2.3	3.2	1.0
日立システムズ	980	2.2	0.9	0.9
日立システムズ	2700	2.2	1.3	1.1
日立システムズ	2740	2.2	2.2	1.0
日立システムズ	280	2.1	0.8	0.8
日立システムズ	12140	2.1	-2.7	0.1
日立システムズ	1490	2.1	1.0	1.0
日立システムズ	690	2.0	-1.1	1.5
日立システムズ	330	2.0	1.7	1.7

「株価急騰銘柄検索」の実行結果例



「株価急騰銘柄検索」で検索された銘柄の例

参考

株価が大幅に上昇した銘柄を探すことで、上げ相場の開始時期を捕らえられる可能性があります。

例-2

株価下落銘柄検索

説明

株価変化率を用い、株価が急激に下落した銘柄を検索します。

計算条件

株価変化率：日足＝3日、週足＝3週、月足＝3月

検索条件

株価変化率：日足＝-10%以上、週足＝-10%以上、月足＝-10%以上

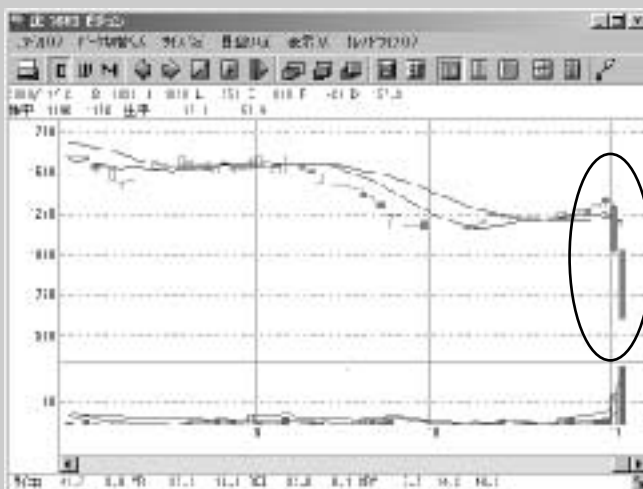
ランキング条件

株価変化率：昇順

The screenshot shows a software interface for stock search. At the top, search criteria are defined: "株価下落銘柄検索" (Stock Price Drop Stock Search), "計算条件: 日足=3日、週足=3週、月足=3月" (Calculation Conditions: Daily=3 days, Weekly=3 weeks, Monthly=3 months), and "検索条件: 日足=-10%以上、週足=-10%以上、月足=-10%以上" (Search Conditions: Daily=-10% or more, Weekly=-10% or more, Monthly=-10% or more). Below this is a table of search results. The table has columns for stock name, daily change rate, weekly change rate, monthly change rate, and other metrics. The results are sorted by daily change rate in ascending order.

銘柄名	日足	週足	月足	その他	日足	週足	月足	その他	
東武鉄道	2.0	-8.3	-2.4	-0.1	**	1.0	8.1	-1.0	0.1
東武鉄道	0	-8.3	-2.4	-0.1	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	2.0	-8.3	-2.4	-0.1	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	1.1	-8.2	-2.3	-1.7	**	1.0	8.0	-1.0	-0.1
東武鉄道	81	-8.3	-2.4	-1.0	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	30	-8.3	-2.4	-1.4	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	0.74	-8.3	-2.4	-0.6	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	10.0	-8.3	-2.4	-1.6	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	2.0	-8.3	-2.4	-1.3	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	1.90	-8.3	-2.4	-1.6	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	3.0	-8.3	-2.4	-1.4	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	1.4	-8.3	-2.4	-1.0	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	87	-8.3	-2.4	-1.9	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	2.6	-8.3	-2.4	-1.6	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	10.0	-8.3	-2.4	-0.8	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	5	-8.3	-2.4	-1.6	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1
東武鉄道	3.0	-8.3	-2.4	-1.4	**	1.0	8.1	-1.0	-0.1

「株価下落銘柄検索」の実行結果例



「株価下落銘柄検索」で検索された銘柄の例

参考

株価が急激に下落した銘柄を探すことは、今後の相場を予想する上で重要です。銘柄ごとの下がり始めの特徴をつかむことで、売り時のタイミングを知る手がかりになるでしょう。また、下がった株価はいつかは上昇に転じるでしょう。下がった銘柄を注意深く監視して、次の買いタイミングを待ちましょう。

例-3

出来高増加銘柄検索

説明

出来高変化率を用い、出来高が急激に増えた銘柄を検索します。

計算条件

出来高変化率：日足＝3日、週足＝3週、月足＝3月

検索条件

出来高変化率：日足＝+500%以上、週足＝+300%以上、月足＝+200%以上

ランキング条件

株価変化率：降順

銘柄名	日足	週足	月足	株価	変化率	出来高	出来高変化率
トヨタ自動車	1800	1800	1800	2000	0.0	1000	0.0
本田技研工業	1600	1600	1600	1800	0.0	800	0.0
日産自動車	1400	1400	1400	1600	0.0	600	0.0
三菱自動車	1200	1200	1200	1400	0.0	400	0.0
スズキ	1000	1000	1000	1200	0.0	200	0.0
アイシン	800	800	800	1000	0.0	100	0.0
デンソー	600	600	600	800	0.0	50	0.0
豊田通商	400	400	400	600	0.0	25	0.0
東洋紡	200	200	200	400	0.0	10	0.0
丸善	100	100	100	200	0.0	5	0.0

「出来高増加銘柄検索」の実行結果例



「出来高増加銘柄検索」で検索された銘柄の例

参考

出来高はその銘柄に対する人気度を表します。株価が上昇する場合は、出来高の増加が欠かせません。また、出来高を伴わない株価上昇はエネルギーが弱く先行きが不安定と言えるでしょう。

しかし、出来高が増える要素は株価の上昇だけではありません。株価が急落する場合に出来高の増加が発生し変化率も大きくなるでしょう。また、商いの薄い銘柄などは少量の出来高で大きく変化しますので、出来高の下限設定を行い出来高の少ない銘柄を検索しないようにするなどの注意が必要でしょう。

例-4

株価上昇クロス (ゴールデンクロス) 検索

説明

株価移動平均の上昇クロス (ゴールデンクロス) している銘柄を検索します。

計算条件

株価移動平均 (長期) : 日足 = 24 日、週足 = 26 週、月足 = 12 月

株価移動平均 (短期) : 日足 = 12 日、週足 = 13 週、月足 = 6 月

検索条件

株価移動平均クロス : 日週月足ともに上昇

ランキング条件

株価移動平均クロス : 降順

銘柄検索結果

中央値前年同月の上昇クロス銘柄に絞った銘柄を降順に表示します。

検索条件

10

銘柄名	業種	株価	移動平均	日足	週足	月足	日足	週足	月足	日足	週足	月足
1190 日産自動車	自動車	1500	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1191 本田	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1192 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1193 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1194 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1195 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1196 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1197 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1198 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1199 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1200 日産	自動車	1000	上昇	10	10	10	10	10	10	10	10	10

「株価上昇クロス (ゴールデンクロス) 検索」の実行結果例



「株価上昇クロス（ゴールデンクロス）」で検索された銘柄の例

参考

株価移動平均線の上昇クロスすなわちゴールデンクロスは、ご存じの通り短期線が長期線を下から上に突き抜けた点です。これは短期的に株価が上昇したことを意味し、今後株価が上昇相場に向かう可能性を示します。図のように底付近で発生したゴールデンクロス後は、上昇相場へ向かう可能性が高いと言えます。ただし、反応の遅れが生じるので、底値を読みとることは難しいでしょう。

例-5

株価下降クロス(デッドクロス)検索

説明

株価移動平均の下降クロス(デッドクロス)している銘柄を検索します。

計算条件

株価移動平均(長期): 日足=24日、週足=26週、月足=12月

株価移動平均(短期): 日足=12日、週足=13週、月足=6月

検索条件

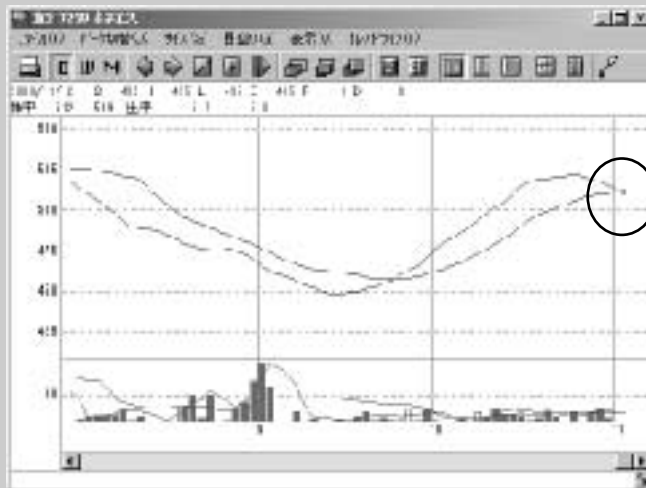
株価移動平均クロス: 日週月足ともに下降

ランキング条件

株価移動平均クロス: 昇順

銘柄名	株価	出来高	移動平均	短期	中期	長期	短期	中期	長期
東証1部上場	281	4,100	112	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三菱UFJ	215	4,400	103	-0.2	-0.2	-0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	591	500,000	102	-0.4	-0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三菱UFJ	510	810	104	---	-0.1	---	0.1	---	---
1-100 三井物産	74	600,000	104	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1-100 日産	102	540,000	103	-0.6	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	210	100,000	102	-0.3	-0.2	-0.1	0.0	0.1	0.1
1-100 三井物産	560	60,000	103	-0.1	-0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	200	1,000	104	-0.0	-0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
1-100 三井物産	200	50,000	103	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
1-100 三井物産	305	5,000	103	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	205	500,000	103	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	110	5,000	104	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	110	1,000	103	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	200	1,000	103	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	200	10,000	103	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-100 三井物産	200	5,000	103	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

「株価下降クロス(デッドクロス)検索」の実行結果例



「株価下降クロス (デッドクロス) 検索」で検索された銘柄の例

参考

株価移動平均線の下降クロスすなわちデッドクロスは、ゴールデンクロスとは反対に短期線が長期線を上から下へ突き抜けたときに発生します。短期的に株価が下降したことを示す、売りサインの一つと考えられるでしょう。ただし、ゴールデンクロス同様に反応が遅れるので、売りタイミングとして利用するには注意が必要でしょう。ゴールデンクロスやデッドクロスのようにやや即応性に欠ける指標は、週足などの長期的なチャートで利用の方がより効果が得られると思います。

例-6

RCI 上昇クロス検索

説明

RCI の長期・短期がいずれも-80%以下で、上昇クロスしている銘柄の検索をします。

計算条件

RCI (長期) : 日足=21日、週足=26週、月足=12月

RCI (短期) : 日足=17日、週足=13週、月足=6月

検索条件

RCI (長期) : 日週月足ともに-80%以下

RCI (短期) : 日週月足ともに-80%以下

RCI クロス : 日週月足ともに上昇

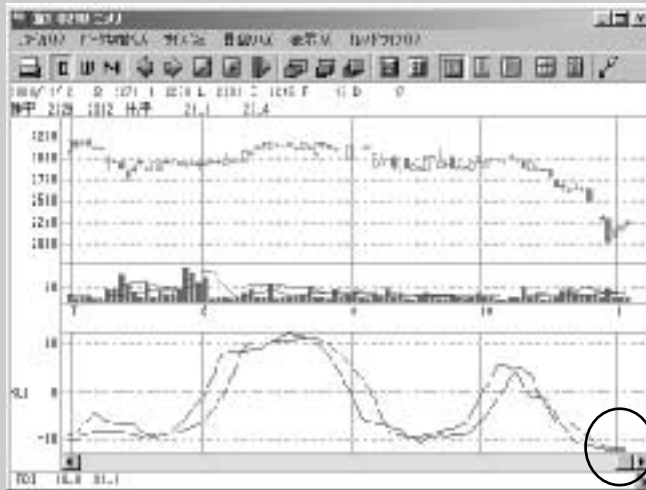
ランキング条件

RCI (長期) : 昇順

RCI 上昇クロス検索結果

銘柄	株価	日足 RCI	週足 RCI	月足 RCI	長期 RCI	短期 RCI	長期 RCI	短期 RCI	長期 RCI	短期 RCI
三菱東京UFJ銀行	1,000	88.00	-96	-96.0	上昇	-87.5	-187.5	200	88.5	245
三菱UFJ銀行	707	16.00	-87.4	-87.1	上昇	-91.8	-44	360	21.3	22.5
三菱UFJ銀行	127	291.00	-87.8	-87.7	上昇	-95.6	-2.5	950	20.1	74.8
三菱UFJ銀行	2242	17.00	-96.8	-96.1	上昇	-94.8	5.0	117	21.7	25.2
三菱UFJ銀行	9.9	1.00	-96.4	-96.2	上昇	-7.5	-5.2	167	8.1	47.8
三菱UFJ銀行	294	8.70	-98.4	-98.2	上昇	-7	-5.6	411	23.3	72.2
三菱UFJ銀行	480	4.70	-95.8	-94.7	上昇	8.7	8.7	200	20.3	28.2
三菱UFJ銀行	1482	169.00	-95.8	-95.4	上昇	-4.8	-8.7	225	44.3	74.1
三菱UFJ銀行	1000	48.90	-93.1	-93.0	上昇	-94.8	-84	200	20.3	27.2
三菱UFJ銀行	154	136.00	-95.4	-95.4	上昇	-4.1	8.7	360	41.7	67.6
三菱UFJ銀行	280	1.00	-96.9	-96.9	上昇	-88.8	-7	200	21.3	19.2
三菱UFJ銀行	225	272.40	-95.5	-95.9	上昇	-94.8	8.0	200	24.2	28.4
三菱UFJ銀行	1805	298.00	-95.3	-95.5	上昇	-11.5	-3.8	117	17.1	78.4
三菱UFJ銀行	25	24.70	-98.2	-98.1	上昇	-20.8	-18.2	225	21.1	24.1
三菱UFJ銀行	2000	332.00	-94.8	-94.8	上昇	8.8	7.7	200	20.3	29.1
三菱UFJ銀行	1700	481	-94.8	-95.0	上昇	-2.8	-8.2	225	24.1	22.2

「RCI 上昇クロス検索」の実行結果例



「RCI上昇クロス検索」で検索された銘柄の例

参考

図のようにRCIは、株価の小さな動きでも敏感に反応するので、短期的な投資向きと言えるでしょう。ただし、いわゆる「だまし」も多く、長期的な相場の状況も常に考慮する必要があります。したがって、RCIのみで判断するのではなく、株価カイリ率などと組み合わせて検索精度を増すなどの工夫が必要でしょう。

例-7

株価カイリ率(-)検索

説明

株価カイリ率が-（マイナス）方向へ大きく乖離している銘柄を検索します。
（-50%以下は異常値として切り捨てる）

計算条件

株価移動平均（長期）：日足＝24日、週足＝26週、月足＝12月

株価移動平均（短期）：日足＝12日、週足＝13週、月足＝6月

検索条件

株価カイリ率（長期）：日足（-50%以上、-10%以下）

週・月足（-50%以上、-30%以下）

株価カイリ率（短期）：日足（-50%以上、-10%以下）

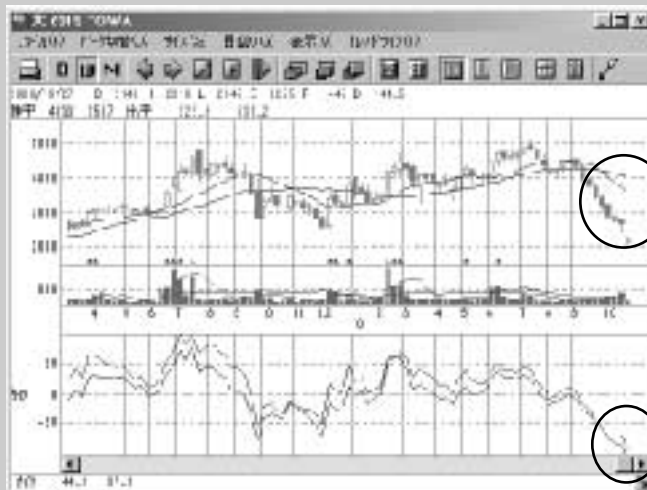
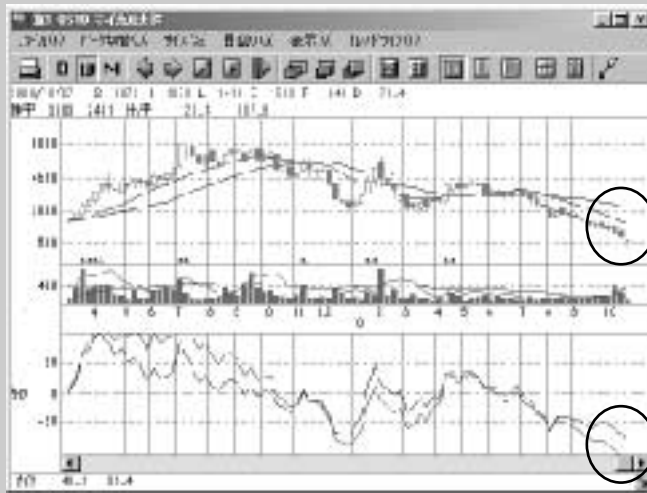
週・月足（-50%以上、-30%以下）

ランキング条件

株価カイリ率（長期）：昇順

銘柄名	株価	日足	週足	月足	日足	週足	月足	日足	週足	月足
1 1808 藤井工業	1180	118.00	-49.1	-28.1	111	1.8	-27.1	-206	291	-18.1
2 1708 三井物産	2200	220.00	-49.2	-16.0	-17	0.9	-8.5	-156	56.2	-77.6
3 1808 三井物産	2400	240.00	-49.2	-20.0	107	1.6	-6.1	-97	211	-66.8
4 1708 三井物産	2500	250.00	-49.2	0.0	-17	10.8	1.0	227	22.7	07.1
5 1808 三井物産	2600	260.00	-49.2	-25.4	89	0.9	-79.8	-1200	36.1	-88.2
6 1808 三井物産	2700	270.00	-49.2	-25.4	260	11.2	-21.2	-220	11.1	-88.2
7 1808 三井物産	2800	280.00	-49.2	0.0	167	10.9	82.4	201	10.1	7.1
8 1808 三井物産	2900	290.00	-49.2	-26.1	250	9.2	-27.2	204	4.1	-27.1
9 1808 三井物産	3000	300.00	-49.2	-26.1	300	7.9	-29.2	-141	20.1	-89.1
10 1808 三井物産	3100	310.00	-49.2	-26.1	367	0.9	-29.4	-1200	40.1	-88.1
11 1808 三井物産	3200	320.00	-49.2	-26.1	449	10.1	-30.2	105	-1.1	-1.1
12 1808 三井物産	3300	330.00	-49.2	0.0	507	0.7	49.5	244	7.1	3.1
13 1808 三井物産	3400	340.00	-49.2	-26.1	581	11.1	-29.8	-1391	16.1	-89.1
14 1808 三井物産	3500	350.00	-49.2	-26.1	67	6.1	-49.8	-141	24.1	-88.1
15 1808 三井物産	3600	360.00	-49.2	-26.1	160	6.1	-50.1	121	26.1	26.1
16 1808 三井物産	3700	370.00	-49.2	-26.1	241	1.8	-26.2	-110	10.1	-98.1

「株価カイリ率(-)検索」の実行結果例



「株価カイリ率(-) 検索」で検索された銘柄の例

参考

カイリ率は、株価移動平均と株価との乖離度（離れ具合）を数値化した指標です。カイリ率が-（マイナス）ということは、株価が過去の水準より低い位置にあるということなので、今後上昇に転じる可能性があることを意味します。しかし、急激な下落ほどカイリ率はマイナス方向へ大きくなるので、カイリ率が大きければいいというものではありません。カイリ率がマイナス域にある銘柄を監視して、買いタイミングを待ちましょう。

保証と責任の範囲

システックは本マニュアルに記載された製品に対し、明示または黙示の品質、性能、商品価値、またはどのような特定の使用目的に対する適合性についても、その保証はいたしません。システックは本ソフトウェア、マニュアルの欠陥の結果発生する直接、間接、特別、偶然、または必然的な損害について、仮に当該損害が発生すると告知されていた場合でも、一切の責任を負いません。当社はプログラムまたはデータの回復に要する費用について一切の責任を負いません。

輸出する際の注意事項

本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。

ユーザーズマニュアル

TELECHART With TOWER 【分析編】

平成18年 1月 29日 初版第1刷発行

発行 株式会社システック

愛知県東海市名和町後西20-2

2006 SYSTEC. All Rights Reserved.

本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。本文中の製品名および社名などは、各発売元または開発メーカーの商標または登録商標です。本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を越え、無断で複写、複製、転載、テープ化、ファイルに落とすことを禁じます。